

令和8年度 図書館地区別（北日本）研修 開催要項

1 趣 旨

図書館地区別研修は、図書館法（昭和 25 年法律第 118 号）第 7 条の規定に基づき実施するものです。情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題について研修を行い、図書館における中堅の司書としての力量を高めることを目的とします。

2 主 催

文部科学省 青森県教育委員会

3 共 催

青森県図書館連絡協議会

4 主 管

青森県立図書館

5 期 日

令和8年 11 月 10 日（火）～12 日（木）〔3日間〕

6 会 場

青森県立図書館 4階集会室（〒030-0184 青森県青森市荒川字藤戸 119-7）

7 対 象

- (1) 図書館法第2条に規定する図書館に勤務する司書で、勤務経験が概ね3年以上の者若しくは研修テーマに関連する業務に従事している者
- (2) 上記(1)と同等の職務を行うと青森県教育委員会が認めた者

8 定 員

- (1) 会場参加 40 名
- (2) オンライン参加 50 名程度

※定員には部分受講者も含まれます。定員以上の申込があった場合は、全日程参加できる方を優先し、地域や所属の偏りを考慮して調整します。受講の可否はメールにより通知します。

9 受講料 無料

10 受講申込

(1) 申込方法

パソコン・スマートフォンから「[青森県電子申請・届出システム（外部リンク）](#)」にアクセスし、お申込みください。検索キーワードは「図書館」です。

(2) 申込締切 令和8年 10 月 27 日（火）

(3) 問合せ先 青森県立図書館 企画支援課

〒030-0184 青森県青森市荒川字藤戸 119-7
TEL:017-739-4211 FAX:017-739-8353
Eメール:kyo@plib.pref.aomori.lg.jp

11 修了証書

研修日程のおおむね4／5以上を受講し、研修成果（研修内容、研修成果を踏まえた業務の改善提案・活用方法について等）について、研修終了後2週間以内にレポート（1,200 字程度）を提出した者に修了証書を授与します。

なお、Web 参加者についても同様の取扱いとしますが、受講者の視聴環境等により受講できなかった場合は、修了証書が発行されない場合があります。

オンライン参加により全日程を受講する場合は、レポート提出時に参加者の所属長に出席確認証明書を提出していただきます。

12 研修日程

月/日(曜日)	第1日目 11/10 (火)	第2日目 11/11 (水)	第3日目 11/12 (木)
9:30			⑤講義 「図書館はなぜ必要か ： 図書館の強みとマネジメントを考える」
10:30	交流会受付		
11:00		休憩	休憩
11:10	⑩交流会 「ボードゲーム体験を通じた参加者交流会」		
11:30		③講義 「図書館利用にサポートが必要な方々へのサービス」	⑥事例報告・意見交換 ・黒石市立図書館 ・六戸町立図書館
12:00	昼食・休憩		
12:40			
13:00	受付	昼食・休憩	昼食・休憩
13:30			
13:40	開講式		
13:45	文部科学省行政説明		
14:15	休憩		⑦講義・演習 「なぜあの人は図書館に行かない？～ナッジで自発的に行動へ促す～」
14:30			※オンラインでの講義・演習
15:10	①基調講演 「人口減少社会における図書館の社会的価値とその役割」	④講義・演習 「多様化する地域社会で図書館ができること」	
15:40			閉講式
16:00			
16:30			
16:40			

13 研修内容

②交流会「ボードゲーム体験を通じた参加者交流会」

進行：株式会社図書館流通センター 菊池 晃成 氏

近年、図書館で取り扱いが広がるボードゲームを用い、参加者同士の交流会を行う。ゲームを通じて自然なアイスブレイクを行い、その後の研修に向けて学び合える関係づくりを図る。

①基調講演「人口減少社会における図書館の社会的価値とその役割」

講師：青山学院大学コミュニティ人間科学部 教授 大谷 康晴 氏

各種報告書や調査結果に基づき、人口減少や高齢化がもたらす要介護リスクなどに対して図書館が持つ可能性を示しながら、これまでにない図書館運営やサービス展開を考える視点となるように人口減少社会において図書館が果たせる役割を提示する。

②講義「地域資料の収集とデジタル化」

講師：元小平市立中央図書館長（認定司書 2024 号）蛭田 廣一 氏

著書『子ども向け地域資料作成の手引き』及び『これからの地域資料ーデジタル化の実践ー』を通して、図書館サービスの基盤となる地域資料の重要性や可能性を再認識する。

③講義「図書館利用にサポートが必要な方々へのサービス」

講師：筑波大学 副学長・附属学校教育局教育長 呑海 沙織 氏

読書バリアフリーの視点を含め、高齢者を中心とした図書館利用にサポートが必要な方々への対応や他館の取組を通し、図書館に求められる役割について考える。

④講義・演習「多様化する地域社会で図書館ができること」

講師：NPO法人国際活動市民中心 コーディネーター 新居 みどり 氏

図書館において多文化サービスの必要性が高まっている社会的背景を知り、具体的な事例を通してだれもが使いやすい図書館の取組について考える。

⑤講義「図書館はなぜ必要か：図書館の強みとマネジメントを考える」

講師：富士大学経済学部 教授 早川 光彦 氏

図書館の現状と課題を掘り下げ、図書館が元来持っている「力」を再認識し、この「力」を引き出すために行うべきマネジメント（運営・経営）を学ぶ。

⑥事例報告・意見交換

進行・助言者：富士大学経済学部 教授 早川 光彦 氏

(1) 黒石市立図書館「地域と共に歩む図書館～開館から5年を経て～」

発表者：黒石市教育委員会 人づくり推進課図書館係 主査兼司書 鳴海 咲姫 氏

中心市街地活性化基本計画の策定を契機に図書館のなかった地域に新たに図書館がきて5年目を迎える。読書環境の確保と市内の回遊性向上に期待された図書館の5年間の歩みを振り返る。

(2) 六戸町立図書館「地域の図書館は学校図書館」

発表者：六戸町立図書館 主事 佐々木 祐子 氏

六戸町教育委員会 学校教育指導室支援員 木村 明美 氏

令和7年度に学校敷地内へ移転開館した町立図書館について、学校図書館として利用されることによる効果や課題、今後の取組について紹介する。

⑦講義・演習「なぜあの人は図書館に行かない?～ナッジで自発的に行動へ促す～」

※オンラインでの講義・演習

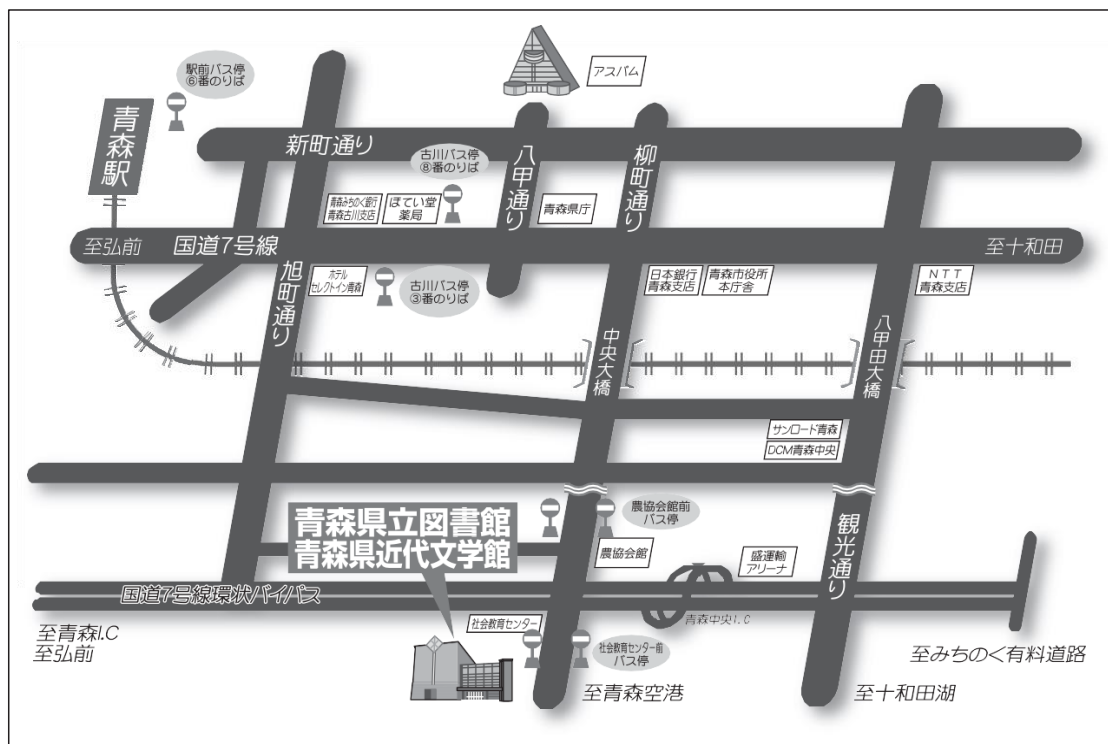
講師:青森大学 客員教授 竹林 正樹 氏

人の心を優しく刺激して、よりよい行動へと動かす行動経済学「ナッジ」について、実践的なナッジの使い方を学び、図書館の利用促進や問題解決に生かす具体的な手法を学ぶ。

14 その他

- (1) 宿泊の斡旋は行いませんので各自で御手配ください。
- (2) 図書館の近隣には飲食店が少ないです。各自で用意した昼食は、館内の休憩場所及び研修会場でおとりいただけます。
- (3) 自然災害やその他不測の事態等の発生により運営が困難であると判断した場合は、研修の開催方法を変更または延期・中止にする場合があります。その際には、青森県立図書館ホームページによりお知らせしますので、各自御確認ください。
- (4) 当日の服装については、青森県では、職員の働きやすい環境づくりの一環として、軽装(ノーネクタイ、上着なし等)で対応させていただきますので、あらかじめ御了承ください。

15 会場への交通案内



●バス利用 「社会教育センター前」下車 青森駅前から約 20 分、国道古川から約 15 分
【市営バス】

- ・青森駅前⑥から:M43 青森朝日放送行、M44 中大野→野木行
- ・国道古川③から:M43 青森朝日放送行、M44 中大野→野木行

【市バス】

- ・青森駅前⑥から:浪岡駅(青森空港経由)行、高田行
- ・国道古川③から:浪岡駅(青森空港経由)行、入内行、大柳辺行、青い森病院行
- ・国道古川⑧から:高田行、入内行、大柳辺行、青い森病院行

●タクシー 青森駅から 15 分 新青森駅から 15 ～ 20 分